



今こそ読書を

私は、子供が「読書好き」になることは、将来に向かってよりよく生きる力を身につけたことになると思います。今、私たちを取り巻く環境は、複雑化、多様化しています。様々な情報が氾濫しています。このような中、大事なことを見失わず、かつ、変化に対応しながらよりよく生きていくためには、常に質の高い知識を獲得し、自分をアップデートしていかなければなりません。そのためには、頻繁に本を読むことが必要だと思うからです。

本は、確かな情報をもとに、選び抜かれた言葉で書かれています。体系化された知識が詰まっています。出版されるまでに、いろんな人の目を通り、何度も修正されています。表現の工夫が施され、分かりやすく、楽しく読むこともできます。

様々な研究によって、読書が「記憶力」「思考力」「集中力」「情報処理能力」「共感力」「コミュニケーション力」「創造力」などを鍛えてくれることが分かっているところですが、一方では、読書をすればストレスや不安から解放されるとも言われます。イギリスのある大学で、読書、音楽視聴、1杯のコーヒー、テレビゲーム、散歩、それぞれのストレス解消効果を、心拍数などをもとに検証したところ、読書は68%、音楽視聴は61%、コーヒーは54%、散歩は42%、テレビゲームは21%のストレス軽減効果がみられたそうです。読書をする心が落ち着く。まさに、本は「心の栄養」と言われるゆえんです。

今の子供たちは、ゲーム機やパソコン等の普及で、じつくりと本を読むことが少なくなってきたのではないかと危惧しています。やっぱり、今こそ「読書」です。本校では、雨が続いてなかなか外で遊べない、室内で過ごすことの多いこの6月を「あじさい読書月間」とし、おすすめの本の紹介や楽しい福引など様々な取組を行っています。



また、先日は、低学年の教室で「図書ボランティア」の保護者の皆様による「読み語り」がありました。「どうぶつたいじゅうそくてい」「よくばりすぎたねこ」など楽しいお話ばかりで、子供たちは大喜びでした。とても集中して聞き入る子供たちの姿が印象的でした。図書ボランティアの皆様は、一年間、様々な活動を計画されています。いつもありがとうございます。



ぜひ、子供たちに読書の楽しさを体感させ、本校に「読書大好き」な子をもっともっと増やしていければと思います。